

みなとみらい21地区 令和7年(2025年)の来街者数は約1億180万人 ～ 人流データの活用により横浜駅東口地区を推計エリアに追加～

令和7年(2025年)のみなとみらい21地区における年間来街者数(推計値)は約1億180万人〔約830万人減(前年比較)〕となりました。また、就業者数は過去最多の約14万7千人〔約3千人増(前年比較)〕となりました。

来街者数については今回から人流データ分析ツール(裏面参考①参照)を用いることで、新たに横浜駅東口地区を含めた推計が可能になりました。加えて、来街者の属性等についても把握できるようになりました。

<来街者数の推移(人流データ分析ツールによる)>

| | 令和7年(2025年) | 令和6年(2024年) |
|-------------------|-------------|--------------|
| 年間来街者数 (1~12月) | 約1億180万人 | 約1億1,010万人※1 |

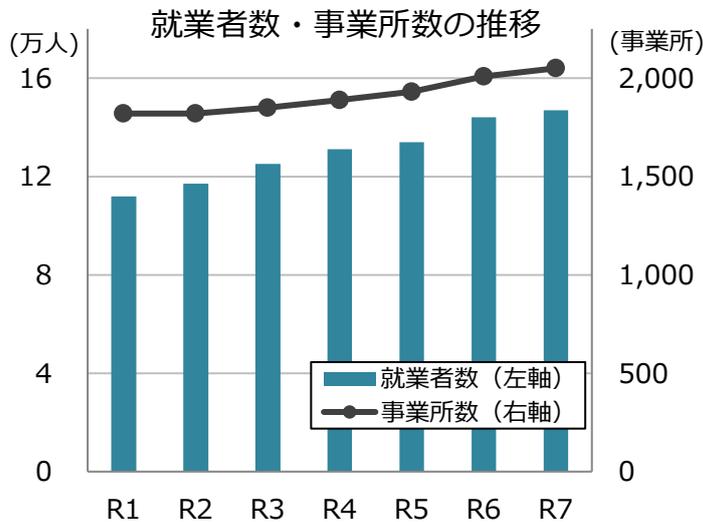
※1 令和6年まで実施していた従来手法(裏面参考①参照)による令和6年の来街者数は約8,260万人(中央、新港地区のみ推計)です。

<就業者数及び事業所数の推移>

| | 令和7年(2025年) | 令和6年(2024年) |
|-------------------|-------------|-------------|
| 就業者数※2 (12月時点) | 約147,000人 | 約144,000人 |
| 事業所数※2 (12月時点) | 約2,050社 | 約2,010社 |

※2 就業者数及び事業所数は、一般社団法人横浜みなとみらい21が地区内の施設設置者を対象に行った調査を基に算定しています。

みなとみらい21地区 推計エリア



裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



<参考①> 人流データ分析ツールを用いた新手法と従来手法の違い

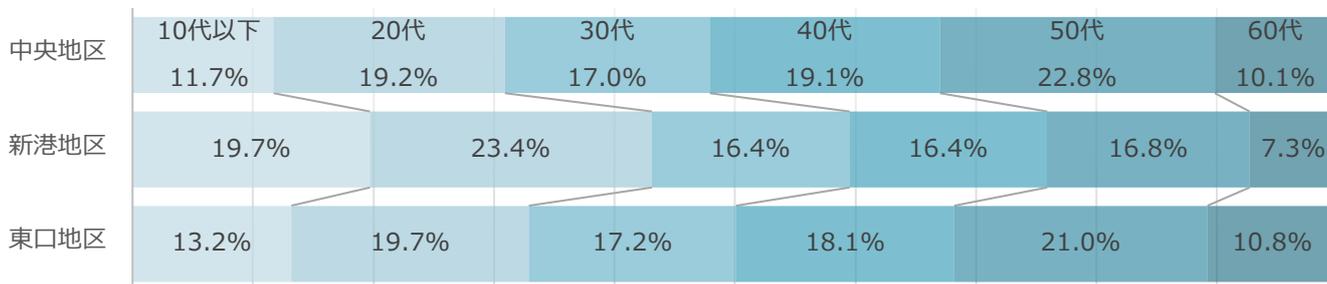
来街者数の推計については、令和7年から、従来手法の「入口通過ベースの年推計」から、新手法のスマートフォン位置情報を用いた人流データ分析ツール（出典元：株式会社 Agoop）による「エリア滞在ベースの年推計」へと移行しました。

従来手法では中央、新港地区のみで推計を行っており、来街者の多くを占める歩行者については当地区と他地区との結節点で7時30分から22時30分までの通過（入域）量を観測し、年間の歩行者数を推定する方式でした（その他の交通手段については、交通手段ごとに実数又は推計値を採用）。

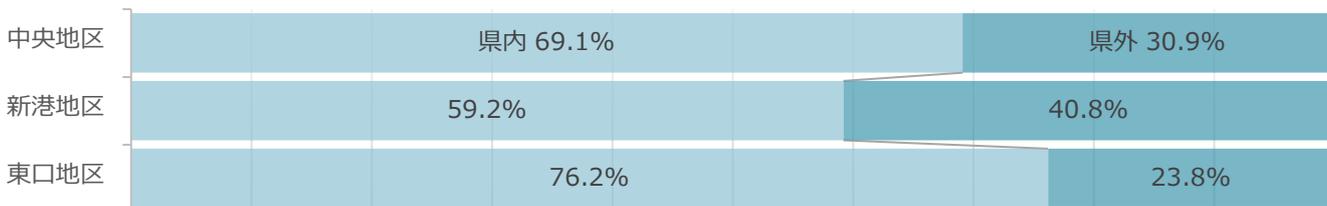
一方、新手法では、エリア内（中央、新港地区に新たに横浜駅東口地区を追加）に滞在した人数を24時間・365日集計するため、深夜・早朝のエリアへの入域や、入域を伴わない居住者・宿泊者による滞在も含め、より網羅的な来街者数を把握することができます。

<参考②> 来街者の属性等（令和7年）

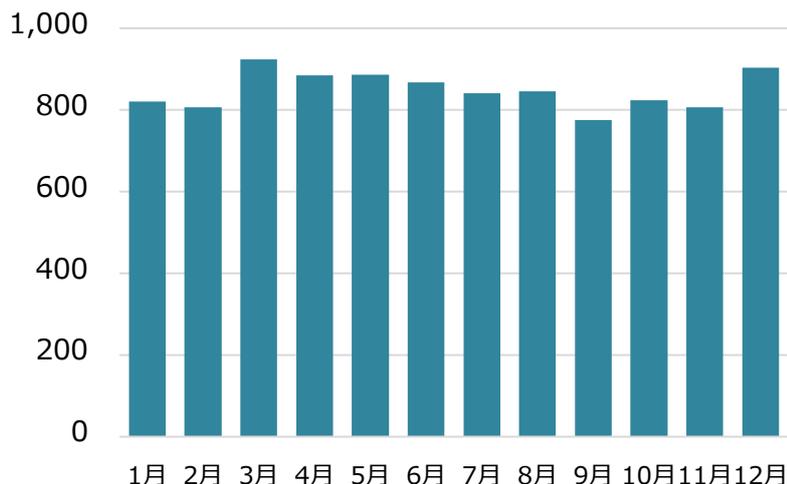
（1）地区別・年代別 来街者割合 ※3、4



（2）地区別・県内/県外別 来街者割合 ※4



（3）月別来街者（万人）



※3 （1）については70代以上を含みません
（取得データが少なく精度懸念があるため）

※4 （1）、（2）については訪日外国人
（インバウンド）を含みません

お問合せ先

都市整備局みなとみらい・東神奈川臨海部推進課長 石原 従道 Tel 045-671-3501



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

